

申請主義によって生じている問題の定義と介入焦点仮説

ポスト申請主義を考える会

1. 申請主義によって生じている問題

「制度・サービスによって課題解決・軽減につながる問題を抱えている人」が、「必要/適切なタイミング」で、「必要な制度情報を入手」し、「申請手続き」を行い、制度・サービスの利用に至ることを妨げていること。（横山）

→それによって「制度・サービスによって課題解決・軽減につながる問題を抱えている人」が制度やサービスの申請に至らず（例：捕捉率の低さ）、必要な制度・支援を活用できず、最悪の場合は生活困窮・孤独死・餓死・自殺など生活や生命が脅かされる可能性がある。

2. 現状行われている施策

なお、そういった申請主義の課題を補填するために現在行われていることとして

- ・生活保護を必要とする人が生死にかかわるような差し迫った状況にあるときは、本人の申請を待たずに市町村長が「職権で保護を開始」などが行われている。

3. 上記定義を前提とした場合の、申請主義によって生じている問題への介入焦点仮説

「申請主義」によって生じている問題に対し、問題解決のための行動について議論するために、以下、4つの介入焦点仮説に分類した。

介入焦点仮説	具体的な解決策の例（前回議論で出た話/実施末のものも含む）
①制度・サービスによって課題解決軽減につながる問題を抱えている人の発見	<ul style="list-style-type: none">・領域ごとの国の対策ガイドライン等に「アウトリーチ」「発見」等の明記・生活困窮者自立支援事業における行政とライフライン事業者との情報共有など（発見も含めたアウトリーチ）・OVAのインターネットゲートキーパーなどの事業（発見も含めたアウトリーチ）
②必要/適切なタイミング	<ul style="list-style-type: none">・例：離婚届け/出生届を出したら（タイミング）、児童扶養手当（児童手当）情報セットで提供提供（③必要な制度の情報を入手）など。
③必要な制度情報の入手	<ul style="list-style-type: none">・行政の情報発信義務の明確化・上記「必要なタイミング」に絡めた情報提供・行政発刊のリーフレットやホームページの情報のアップデート（テクノロジーの活用）
④申請手続き（簡素化）	<ul style="list-style-type: none">・申請方法の簡素化 例：スマホからワンクリックで申請・申請受理の仕組み変更 例：書類全部揃えて「申請受理」ではなく、口頭で受理し、その後、必要書類などを揃えるプロセスに必要な人であれば伴走する、等。能力的に申請手続きが必要な人に必要。・申請の窓口を拡大する 例：生活保護の申請を病院でできる 等・「デフォルト申請」で「申請」を解除する（オプトアウト） <p>参考：ナッジについて</p> <p>※ただし簡素化されても支援が必要な人への支援も必要となる</p>

4. 問題解決の行動（ソリューション）を検討する上で援用できる理論的枠組みやヒント

a. レッスング『コード2.0』

i. 人間の行動の規定について

法律 (Law)	法律・規定・規約
規範 (Norms)	道徳・世間・文化・常識
市場 (Market)	市場原理・経済的インセンティブ
アーキテクチャ (Architecture)	物理的な環境や制約

ii. 事例：NPO法人OVAの介入（目的：若年層自殺予防）

1. Architecture:

検索エンジンで自殺方法等について調べているユーザーに対し、検索連動広告を用いる事で「死ぬための情報」よりも「生きるための情報」を目につきやすいところに表示させるという選択アーキテクチャ（ナッジ）の手法を開発・実施。

2. Law :

自殺総合対策大綱に「ICTを用いたアウトリーチ」の文言が入るように働きかける。

iii. 申請主義の課題を乗り越えるための介入法の整理

法律 (Law)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の情報提供義務化 ・領域ごとの国の対策ガイドライン等に「アウトリーチ」「発見」等の明記。 ・教育現場での社会保障教育
規範 (Norms)	<ul style="list-style-type: none"> ・制度ごとのスティグマの軽減（スティグマ軽減のための制度名の変更。Lawとも重なる例：韓国生活基礎保障法）
市場 (Market)	<ul style="list-style-type: none"> ・制度利用が増えることによる自治体の経済的インセンティブ。 例：税金の増大。 長期的な社会保障費の軽減。
アーキテクチャ (Architecture)	<ul style="list-style-type: none"> ・デフォルト申請 ・申請方法の簡素化 ・その他福祉アクセシビリティを高める様々な事業や取り組み（の普及）

以上